

地域とのつながり

副園長 吉田 元

夏休みが終わり、幼稚園生活が始まりました。枝川幼稚園の職員一同、こどもたちに会うことを心待ちにしていました。今年は、記録的な酷暑の日が続きました。そんな大変暑かった夏休み、皆さんはどのように過ごされたでしょうか？

枝川幼稚園では、7月下旬には、プール開放、かんがるーひろばの水遊びを行いました。熱中症の危険度を判断するための指標である暑さ指数「WBGT」が31を超えてしまうと、運動遊びは禁止となり水遊びを中止せざるを得なくなりますが、枝川幼稚園では、今年、プール全体をカバーできる遮光ネットを設置し、継続して水遊びを実施することができました。水遊びでしか味わえない気持ちよさや経験を園児、未就園児の親子ともに味わうことができました。

8月上旬には、枝川二丁目、三丁目町会の夏まつりの盆踊りや父母の会主催のバザーに参加しました。バザーは、父母の会役員を中心に何か月も前から計画・準備を進め、当日は多くの地域の皆様に来ていただきました。バザーの収益は、園児や父母の会の活動充実に活用されます。ご協力いただいた、保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。

3日目には、神輿巡業に参加させていただきました。枝川の半纏に袖を通し、神輿を担いで枝川地域を巡業する中で、「わっしょい、わっしょい！」と威勢の良い掛け声とともに、地域の皆様から温かい声やまなざしをたくさんいただきました。枝川幼稚園に着任して約5か月、地域の祭りにも参加させていただき、地域の一員になれたように感じております。



神輿巡業 辰巳自動車工場前にて

令和6年度10月に文部科学省より示された「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討委員会 最終報告」では、「幼児教育施設と家庭・地域がそれぞれの有する教育機能や役割を発揮し、支え合いながら一体となって取り組むことが必要」と書かれています。園児の健やかな成長には、地域、保護者の支援が欠かせません。枝川幼稚園を取り巻く温かい地域、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、質の高い幼児教育を進めてまいります。

4歳児年中ちゅうりっぷ組

- ・夏休み前の生活を思い出し、好きな遊びを思いっきり楽しみながら園生活のリズムを取り戻せるようにしていきます。また、教師や友達との再会や新しい友達との出会いを喜び、園生活に安心感や期待がもてるようにします。
- ・思いきり体を動かして、伸び伸びと遊べるようにします。また、みんなで一緒にする遊びや活動に取り組む面白さや、自分なりに思いを出したり、動いたりする嬉しさを味わえるようにします。

5歳児年長ひまわり組

- ・夏休みの思い出をみんなの前で発表する機会をつくり、関心をもって友達の話の聞いたり、夏休みに経験したことを遊びの中で再現して楽しんだりできるようにします。
- ・様々な遊びや活動に、友達と力や気持ちを合わせて取り組む充実感を味わえるようにします。
- ・自分の力を十分に出したり、友達と互いの頑張りを認め合ったりする中で、最後までやり遂げる満足感が味わえるようにします。

